

島根大学交換留学レポート 6・7月

エクセター大学 S.Y

6、7月になり、毎日雨だった春までが嘘だったように毎日晴れています。日も長く、天気も良くて、イギリスの天気といえば暗いイメージだったので驚いています。晴れの日の日差しは厳しいですが乾燥しているので日陰や夜間は涼しく、日本の夏よりも過ごしやすいです。

今回はエクセターでの暮らし、主に家について紹介したいと思います。私は最初の学期は大学の寮に住んでいました。寮と言っても徒歩 20 分かかる山の中のようなところにあり、出発直前の 1 月に買った靴が 4 月には履けないほどボロボロになるくらいかなり過酷な通学でした。(私の寮がそうただけでもっと近い寮もたくさんあります。)私のフラットは 9 人で 1 つのキッチンを共有して、トイレや風呂は部屋についているものでした。9 人のうち 7 人はイギリス人の 1 年生、1 人はカナダからの交換留学生で、私以外皆英語のネイティブスピーカーの上、7 人は 9 月から住んでいるので仲も良くかなりアウェーでした。若者のネイティブ同士の会話は別の言語かと思うほど聞き取ることが難しくて驚きました。また、1 年生なので勉強など余裕があるのか毎日のように歌ったり踊ったり飲んだりのパーティーで、パワフルさに圧倒されました。私は勉強に全く余裕がなかったことや家に帰れば騒がしいこともあり、大体遅くまで大学にいる生活をしていました。彼らとは顔を合わせたら挨拶をする程度で終わってしまったので少し残念ですが、イギリスの大学生を間近で見れたことがおもしろい経験になったと思います。

これは最初の学期の出来事で、6、7 月私が主にしてしたこと、そしてイギリスに来て 1 番苦労したことが家探しでした！なぜかというと、エクセター大学の寮は 1 年目の学生のためのもので、私は 1 年間の交換留学生ですが、年度をまたぐため 9 月からは 2 年目の学生になってしまい寮に住むことができなかったからです。通常、学部生は 9 月にその年度が始まり、その翌々月の 11 月頃から次の年度に住む家を決めてしまうそうです。なので一緒に住んでくれる友人を探すことも難しく自力で家を探すしかない状況でした。インターネットで学生用のアパートや個人で貸し出している家にたくさん連絡をしたのですが、どこも 1 年間の契約しかなく、1 学期の間だけ貸してくれる場所が見つからず、本当に困っていました。

もう見つからないかと諦めかけていた時に奇跡のようなことがありました。エクセターにあるお気に入りのカフェに立ち寄ったところ、席がかなり埋まっていたのでどこに座ろうかキョロキョロしている時に 4 人席に座っていた女性が相席しようと声をかけてくださいました。そこに座ることに少し話をして、その方の娘さんがその店のオーナーであることが分かり意気投合し、更に話していると、私が今何をしているのかを聞かれました。そして、私がかつ家探しをしていることを伝えると、その女性が自分の家に空いているベッド

ルームがあるから使っていいと言ってくださり、その次の日にはお家に行かせていただきその場で9月からホームステイをさせていただくことに決まりました。旦那さんもおられ、そのご夫婦と話している時に「本当の娘のように世話するからね」と言ってくださり本当に感動しました。家が見つかったことももちろん嬉しいのですが、外国でこんなに人の優しさに触れることができたことがとても嬉しく、留学中で1番心に残る体験になりました。